

■ 木材産業近代化の推進者

井坂 直幹

いさか なおもと

出身地 茨城県水戸市

1860年（万延元年）～1921年（大正10年）

藩政時代のままの効率の悪い林産事業改革の使命を
帯び、林産商会能代支店長として来県。構想を得て
新会社を設立し、機械製材を始める。質の良い製品
で販路を拡大し、秋田木材株式会社を興す。



年譜

- 1860年 茨城県水戸市に生まれる。幼名・亮太郎。
- 1883年 慶応義塾卒業。
- 1887年 日本土木会社に入社、大倉喜八郎の秘書となる。
- 1888年 林産商会に移る。翌年、林産商会能代支店長。
- 1897年 能代材木合資会社、能代挽材合資会社を創立。
機械製材を始める。
- 1901年 秋田製板合資会社を創立。
- 1907年 前記3社を統合した秋田木材株式会社を創立。
- 1920年 資本金を増資、東洋一の秋木王国に。
- 1921年 社長を辞任、会長に。能代市で没。60歳。